

2010 年度 カリタス女子短期大学市民講座のご案内

テーマ: 「カリタス学園創立 50 周年記念

多文化共生を語る ー国境を越えた視点からー

＜趣旨＞

多文化共生とは、異なる民族・文化・価値をもったひとたちと「違いを認め合いながら、共に支えあって生きること」を指します。日本は今、そうした社会環境への変化を模索しているように思えます。

では、異質な文化価値の出会いに、過去、人はどう対応してきたのでしょうか。あるいは現在・将来にわたって、どう“共生”したらよいのでしょうか。そこで今回は、こうした現代的な問題意識について、専門を異にするさまざまな視点から、このテーマを扱ってみたい。イスラム文化とのかかわり、西欧文化史や地域研究からの視点、あるいは教育や国際関係の現場からの体験等を通して、皆さんと一緒に考えていきましょう。

なお、2010 年はカリタス学園創立 50 周年にあたりますので、シンポジウムではそのルーツであるカナダ・ケベックとの“共生”を中心に触れてみます。最終日のこのシンポジウムは無料です。

* 期間 : 2010 年 9 月 4 日 (土) ~ 11 月 20 日 (土) (全 7 回) * 時間 : 13 : 30 ~ 15 : 30 * 定員 : 100 名
* 会場 : カリタス女子短期大学 1 階大教室 〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野 2-29-1 TEL:045-901-5133

* プログラム・スケジュール *

回	日程	テーマ	講師
①	9月 4日 (土)	多文化共生はどこまで可能か ー多民族国家カナダの事例ー	竹中豊 (本学教授)
②	9月25日 (土)	日本・ケベック関係の魅力 ー互いに近づけるものー (通訳付き)	スザンヌ・エティエ (カナダ・ケベック州政府在日事務所代表)
③	10月 2日 (土)	パリ・パサージュに見る多文化 ー19世紀から21世紀ー	稲葉延子 (本学教授)
④	10月 9日 (土)	日本における多文化共生 ー国際秘書の視点からー	北川宣子 (本学教授)
⑤	10月30日 (土)	日系カナダ人のアイデンティティ ー多文化社会カナダでカナダ人になるとは?ー	飯野正子 (津田塾大学学長・教授)
⑥	11月 6日 (土)	中東・北アフリカ地域での多文化共生のしやすい国、 しにくい国 ー言語・宗教両面からの考察ー	久山宗彦 (本学学長)
⑦	11月20日 (土) (無料)	シンポジウム「多文化共生を語る ーケベックから 見た日本・日本から見たケベックー」 ＜日本からみたケベック＞ ＜ケベックからみた日本＞ ＜アイデンティティと共生のあいだ＞	司会 : 稲葉延子 (本学教授) 竹中豊 (本学教授) クローデット・ベルニエ (カリタス学園理事長) 立花英裕 (早稲田大学教授)

申し込み方法 受講希望の方は 右の申込書に必要事項をご記入の上、8月31日(火)までに下記宛にご郵送下さい
(FAX も可)。受領後、お申し込み受付通知を、葉書 又は FAX 等でお送りいたします。

〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野 2-29-1 カリタス女子短期大学市民講座 係
tel.045(901)5133 / fax.045(901)5066 / Eメール caritas@caritas.ac.jp

尚、締切日間際にお申し込みされる場合には、お手数ですが、まずお電話でご連絡下さい。

受講料 5,000円 (一旦納入された受講料は、原則としてお返しできません。予めご了承下さい。)

振込先 受講料は受付通知到着後9月2日(木)迄に以下の振込先までお振込み下さい。

三菱東京 UFJ 銀行登戸支店 普通預金 口座番号 : 4706738 口座名義 : 学校法人カリタス学園

金融機関備え付けの用紙に払込人氏名をご記入される際、或いは、ATM で払込人氏名をご入力される際には、ご自分のお名前の前に、アルファベットの「S」を付けてお振込み手続きくださいますようお願いいたします。

その他 ①「講義要綱」は受講初日にお渡しします。 ②車での来学はご遠慮下さい。